

## 発見！お茶の水女子大学の広開土王碑拓本

### 【概要】

古瀬 奈津子\*

「広開土王碑」は高等学校の日本史教科書にも世界史教科書にも掲載されていて、よく知られています。その拓本が本学歴史資料館にも所蔵されています。本シンポジウムでは、本学所蔵の広開土王碑拓本をめぐって、専門家による報告を通して学術上の位置づけを明らかにし、また大学史の観点から本学に所在する意義を探りました。

趣旨説明・司会：

古瀬 奈津子（お茶の水女子大学大学院教授）

研究発表：

武田 幸男（東京大学名誉教授）「広開土王碑の真意を求めて」

徐 建新（中国社会科学院世界歴史研究所教授）  
「広開土王碑拓本研究とお茶の水女子大学の年代」

早乙女 雅博（東京大学大学院教授）「製作技法からみたお茶の水女子大学拓本の年代」

奥田 環（お茶の水女子大学非常勤講師）「東京女子高等師範学校の学術標本—教材としての広開土王碑拓本の背景—」

パネルディスカッション 司会：

三上 喜孝（山形大学准教授）

日時：2012年7月7日 13:00 - 17:30

場所：お茶の水女子大学 本館 306 室

なお、当日、歴史資料館により、拓本の第一面が本館 103 室で特別展示（11:00～15:00）され、100 人をこえる入場者がありました。拓本の写真はお茶大デジタルアーカイブス（[http://archives.cf.ocha.ac.jp/shiryu\\_takuhon.html](http://archives.cf.ocha.ac.jp/shiryu_takuhon.html)）でも閲覧できます。

本シンポジウムには学内外から多くの方々が参加してくださいました。その成果は本としてまとめて刊行される予定です（同成社から 2013 年春刊行予定）。

---

\*お茶の水女子大学大学院教授